

## 4 年生用

## ゼミコースアウトライン Seminar Course Outline

For 4<sup>th</sup> year students

教員名(Name) : ハンフリー恵子 ( Keiko Humphrey )

### \*ゼミタイトル Seminar Title

マーク・トゥエインの『王子と乞食』を読む

### \*授業概要 Outline of the contents

2025 年度のゼミでは、アメリカ文学を代表する大作家、マーク・トゥエインの『王子と乞食 (*The Prince and the Pauper*) 』(1881) を読みます。この舞台は 16 世紀のイギリスです。ヘンリー8 世の息子エドワード王子は、10 歳の時、自分と瓜二つの少年トムに出会います。軽い思いつきで洋服を交換した二人。そこから二人の人生は大きく変わり始めます。乞食となってしまったエドワード、王子となってしまったトム、彼らは自分が育った世界とは全く違った世界に放り込まれ、多くの苦難に遭いながらも挫けることなく立ち向かい、さまざまな経験を通して学び成長していきます。

アメリカ人であるマーク・トゥエインが、イギリスを舞台とする物語を書いたのはなぜでしょうか。なぜアメリカではなくイギリスを、彼の生きた 19 世紀ではなく 16 世紀を舞台としたのでしょうか。また、トゥエインはコミカルなストーリーの中に風刺を織り込んだ作品を生み出す作家です。もちろんこの『王子と乞食』の中にも、トゥエインの社会風刺はたっぷりと盛り込まれています。では、それはどのように作中に描かれているのでしょうか。本作品を読みながら、これらの答えを探っていきます。

授業は小説を扱いますが、ただそれを読む「講読」ではなく、テキストを分析して考察する「文学研究」を行います。さらに、作品の時代背景や作者トゥエインの生きたアメリカ事情も調べ、それらから得た知識を生かしてテキストの解釈を深めながら、『王子と乞食』研究を行います。

こうしたテキスト分析を通してこの作品におけるテーマを見出し、学年末にレポートを作成します。

### \*授業の形式 How the class is conducted

基本的にグループディスカッションで進めていきます。あらかじめ配布されるプリントに示されたポイントに注目して指定範囲を事前に読み、作品への考察を深めて授業に臨むことが求められます。授業ではまずグループでテキストの分析と解釈を深める作業を行い、その後クラス全体での意見交換を行います。

### \*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment

成績は、授業への参加と学期末のレポートから総合的に評価します。

### \*その他 Others

#### 使用テキスト

Mark Twain, *The Prince and the Pauper*.